

平成19年5月24日
筑波大学

海外拠点「筑波大学中央アジア国際連携センター」の設置について

1. 目的

本センターは、本学の国際連携ポリシーを踏まえ、中央アジア諸国の有力大学・研究機関とのネットワーク構築を通じて、日本語及び日本研究分野をはじめとする本学の特色ある学問領域を中心に同地域との学生・研究者交流や共同研究を推進し、中央アジアに関する世界的な研究拠点を形成すること、並びに「中央アジア全体との対話と協力の構築」という新たな外交政策を背景に、中央アジアの高等教育機関等における教育・学術の発展に貢献することを目的とする。

2. 設置場所

タシケント国立東洋学大学日本語学科内（ウズベキスタン共和国タシケント市）

3. 設置時期

平成19年6月1日

4. 運営体制

- (1) 全学共通組織として学長の下に設置し、海外拠点規則に基づき学長が指名する海外拠点運営管理者を置く。海外拠点運営管理者は、センターの管理運営に必要な体制を学内外の協力者を得て整備する。
- (2) 海外拠点管理運営者等の関係教職員を定期的に現地に派遣し、タシケント国立東洋学大学の協力を得つつセンターの維持管理、連絡調整に当たるほか、当該国在住者を現地スタッフとして配置し、連絡調整、情報収集、各種会議のコーディネート等を行う。

5. 学内における主な対応組織

人文社会科学部研究科を主たる対応組織とし、地域研究研究科、国際総合学類、比較文化学類、人文学類、留学生センター（日本語等教育部門）が連携・協力して対応する。必要な事務処理については、人文社会科学等支援室が行う。

6. 主な活動

設置当初においては、日本語教育、日本研究、中央アジア研究分野を中心として以下のような活動を行う。更に、関係する教育研究組織の協力を得て幅広い分野における学术交流の拠点とする。

- (1) 国際シンポジウム・研究集会の開催支援
- (2) 日本語集中講義の実施支援
- (3) e-learning を利用した日本語遠隔授業の実施支援
- (4) 本学学生の現地での日本語教育実習の実施支援
- (5) 学生の派遣及び受入れ支援

（特に、留学生の受入れにおいては、文部科学省「平成18年度国費外国人留学生（研究留学生）の優先配置を行う特別プログラム」に採択され、平成19年度から5年間、毎年6名分の国費外国人留学生枠を確保。）

- (6) 国際交流協定締結校等の現地教員の受入れ、研修の支援
- (7) 本学に関する各種情報の提供及び現地の各種情報の収集 等

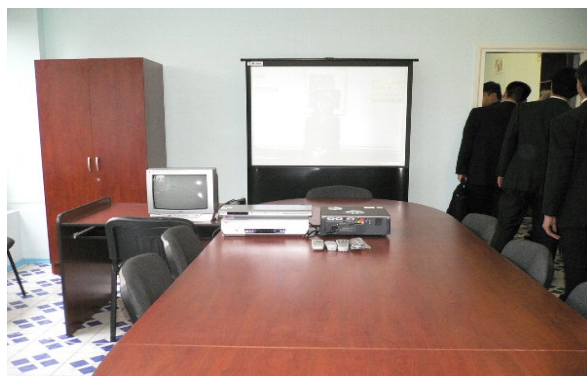
7. 備考

センターの施設については、日本国政府の草の根文化無償支援により整備されたタシケント国立東洋学大学日本語学科内の施設、機材を同大学から無償により提供を受ける。

筑波大学中央アジア国際連携センター施設



コンピュータールーム



スタッフルーム



コンファレンスルーム

センター施設がある極東アジア学部建物



日本語学科 (極東アジア学部 4階)



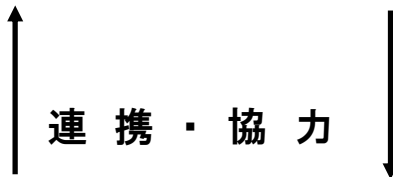
筑波大学中央アジア学術教育交流ネットワーク(構想)

筑波大学中央アジア国際連携コンソーシアム

(人文社会科学研究科*, 地域研究研究科, 国際総合学類, 比較文化学類, 人文学類,
日本語・日本文化学類, 留学生センター, 人間総合科学研究科世界文化遺産学専攻**,
生命環境科学研究科**, 芸術研究科**, 人間学群**, 生物資源学類**, 芸術専門学群**他)

* 筆頭責任組織

**検討依頼予定の教育研究組織



海外拠点

筑波大学中央アジア国際連携センター
(タシケント国立東洋学大学内)

日本語・日本研究, 中央アジア地域研究, 政治・経済学, 史学,
考古学, 文化遺産学, 環境学等

共同研究, 専門家養成支援, 日本語教育実習, 学生交流

中央アジア五カ国の高等教育機関				
キルギス	カザフスタン	ウズベキスタン	タジキスタン	(トルクメニスタン)
キルギス国立大学 キルギス民族大学* マナス大学*	ユーラシア国立大学 カザフ国立大学* カザフ国立経済大学*	タシケント国立東洋学大学 世界経済外交大学 サマルカンド国立外国語大学	タジキスタン科学アカデミー* タジク国立言語大学* ロシア・タジク・スラヴ大学*	外交上においても同国との 交渉はほとんどなく, 同国高 等教育機関との交流協定締 結は今後の課題

* 今年度中の学術交流協定の締結を目指し, 既に準備を進めている教育研究機関

タシケント国立東洋学大学の概要

1. 名称（英語）：Tashkent State Institute of Oriental Studies
2. 所在地
住所：700047 ウズベキスタン共和国タシケント市シャフリサブズ通り 25 番
電話：(+998-71-) 133-34-24/133-45-21
ファックス：(+998-71-) 120-65-65, E-mail：tasgiv@online.ru
3. 創立：1991年
(1991年7月大統領令第186号によりタシケント国立総合大学から分離独立して設置。)
4. 教員数：約330名（うちアカデミー会員3名，博士79名，博士候補121名）
学生数：約2,500名，大学院生：430名，卒業生数：4,600名（1996年に第1期生が卒業）
5. 学部：5学部
(文学・歴史学部，国際関係経済学部，極東アジア学部，通信学部，教師資格向上研修学部)
6. 取得可能学位：学士，修士，博士候補，博士
7. 学部の専攻：1)個別文学・言語学，2)歴史学，3)中央アジア地域研究，4)宗教学，
5)国際関係学，6)国際経済学，7)政治学，8)東洋哲学
8. 修士課程の専攻：1)古典文学・言語学，2)個別文学，3)個別言語学，4)歴史学，5)中央アジア・
中近東地域研究，6)国際関係学，7)イスラム学，8)アジア経済研究，9)マーケティング・マネー
ジメント，10)諸国地域研究，11)中央アジア地域研究，12)中近東地域研究
9. 博士号の分野
1)アジア・アフリカ諸国語・アジア・アフリカ文学
10. 博士候補の分野
1)歴史学，2)アジア・アフリカ諸国語・アジア・アフリカ文学，3)イラン語学
4)文献学，5)アジア・アフリカ諸民族語及びアメリカ・オーストラリア原住民語
6)政治動向及び世界の発展のための政治課題，7)国際経済学
11. 開設外国語：20言語（アラブ語，ファルシ語，ダリ語，プシュト語，ヒンディ語，ウルドゥ
語，ベンガル語，中国語，日本語，韓国語，トルコ語，インドネシア語，タイ語，マレー語，
ベトナム語，ウイグル語，英語，フランス語，ドイツ語，スペイン語）
12. 講座：33講座
【文学部・歴史学部】【修士課程】
1)文献学講座，2)アラブ語講座，3)イラン・アフガニスタン語講座
4)チュルク系言語講座，5)東洋諸国文学講座，6)英語講座，7)言語教育学・教授法講座
8)諸外国歴史講座，9)中央アジア諸国言語史講座，10)各国語言語史講座
【国際関係経済学部】【修士課程】
1)CIS・ヨーロッパ・アメリカ経済講座，2)国際関係学・政治学・法学講座
3)極東諸国経済講座，4)国際マネジメント講座，5)中央アジア諸国経済講座
6)中近東諸国経済講座，7)宗教学・イスラム学講座，8)東洋言語講座，9)ロマンス語講座

10)ゲルマン語講座, 11)第二英語講座, 12)高等数学・情報理論講座, 13)国際経済講座
【学部共通の講座】【修士課程】

- 1) 体育・スポーツ講座, 2) 自然科学講座, 3) 社会科学講座, 4) ウズベク語講座
- 5) ロシア語講座, 6) ウズベキスタン民主主義社会国家建設のための理論及び実践講座

【アジア極東学部】【修士課程】

- 1) 韓国語講座, 2) 日本語講座, 3) 中国語講座, 4) 南アジア諸国講座

13. 学術協定：12 カ国 30 大学・機関

- 1) 日本 (3 大学・機関) 法政大学, 福島学院大学, 東京外国語大学
- 2) 韓国 (5 大学) スング大学, ハンドン大学, セジョング大学, ハンクク大学, カングナム大学
- 3) エジプト (5 大学) コヒラ大学, アイン・シャムス大学, アル・マンスラ大学, アル・アズハル大学, アレクサンドル大学
- 4) 英国 (1 機関) オックスフォード大学
- 5) 中国 (4 大学) 北京外国語・文化大学, 天津国際友好総合大学, 上海大学, lan jou 大学
- 6) 米国 (2 大学) サンディエゴ大学, ワシントン大学
- 7) オランダ (1 大学) ロッテルダム・イスラム大学
- 8) フランス (2 大学) 言語大学, パリ東洋学大学
- 9) インド (2 大学) ジャワハラル・ネルー大学, デフリ大学
- 10) トルコ (1 大学) オタ・トルク大学
- 11) ドイツ (3 大学) ベルリン大学, ハレア大学, ギッセン大学
- 12) ロシア (1 大学) モスクワ大学附属アジア・アフリカ大学

14. 大学所轄の学術研究センター：10 機関

- 1) 中央アジア発展のための思想研究センター, 2) 現代東洋諸国の社会・政治・経済研究センター
- 3) 自由経済地域の先進国の経験研究センター 4) モバロフナル・イスラム研究センター
- 5) 哲学研究センター 6) 東洋文学史研究・東洋学の電子情報に関する図書編纂センター
- 7) 人材育成プログラムの開発と教育制度の諸問題研究センター
- 8) 中央アジア民族の宗教史センター, 9) 東洋学の電子情報に関する開発と図書編纂センター
- 10) 中央アジア歴史地理センター

15. 大学附属の学校 (リツェー) (初等・中等教育)

- 1) タシケント国立東洋学大学附属アカデミー学院 (国際経済・地域研究・言語)
- 2) タシケント国立東洋学大学附属歴史・言語学院 (歴史・言語)
- 3) タシケント国立東洋学大学言語学院 (言語)

16. 大学の教育支援校 (初等・中等教育)

- 1) イラン・アフガニスタン語-タシケント第 119 番校, 第 272 番校
- 2) アラブ語-第 29 番校, 第 1 番校, 第 2 番校
- 3) ヒンディ語-第 92 番校, 第 24 番校
- 4) ウルドゥ語-第 156 番校
- 5) 中国語-第 59 番校

中央アジア諸国の高等教育機関との交流の実績

1. 国際交流協定校（2007.5月現在：3カ国5大学）

- ① タシケント国立東洋学大学（ウズベキスタン）（2005年5月）
- ② キルギス国立大学（キルギズ）（2005年5月）
- ③ ユーラシア国立大学（カザフスタン）（2006年8月）
- ④ サマルカンド国立外国語大学（ウズベキスタン）（2006年9月）
- ⑤ 世界経済外交大学（ウズベキスタン）（2006年9月）

2. 訪問交流

- ① 本学教職員代表団の訪問（協定校を中心に2004.3～2007.2までにほぼ年間2回のペースで実施）
- ② 学長等の本学への訪問
 - ・カザフ国立経済大学学長訪問（2006年7月）
 - ・タシケント国立東洋学大学学長訪問（2006年12月）
 - ・サマルカンド国立外国語大学学長訪問（2007年1月）

3. 学術交流

- （1）講演会 延べ33回（本学での開催：18回、中央アジアでの開催：15回）
- （2）国際研究集会 8回（本学での開催：1回、中央アジアでの開催：7回）

4. 教育交流

- （1）集中講義・授業の実施
タシケント国立東洋学大学等において、延べ33回実施（2005年以降）
- （2）研究指導
タシケント国立東洋学大学の大学院生に対する修士論文を中心とした個別の論文作成指導（2006年9～10月、延べ10名の学生）
- （3）教員研修
3回（2005年2月、2006年9月にタシケント東洋学大学において日本語教育研修を実施。2006年12月に本学において世界経済外交大学教員の研修を実施）
- （4）研究者交流
2006年6～8月の3月、国際連携プロジェクト事業として、タシケント国立東洋学大学日本語講座長を外国人研究員として招へい。
- （5）学生交流（交流協定に基づく交換留学生）
 - 〈受入れ〉
 - ・タシケント国立東洋学大学から6名
（国費留学生2名、JASSO奨学留学生1名、私費3名）
 - ※協定締結以前にも国費留学生（日本語・日本文化研究留学生として3名受入れの実績あり）
 - ・キルギス国立大学から3名（JISSO奨学留学生1名、私費2名）
 - 〈派遣〉
 - ・国際総合学類から2名
（タシケント国立東洋学大学、キルギス国立大学へ各1名派遣）
 - ・人文学類から1名（ユーラシア国立大学に派遣）